

富岡地域づくり 協議会だより



第22号

令和4年4月25日

広報委員会

<http://www.town-tomioka.click/>

ここ2年間程、新型コロナウイルスによって、世界中の人々は、この予防のための、あるいは、この対処のための生活を余儀なくされてきました。ご多分にもれず本富岡地域づくり協議会もほとんどの事業を中止せざるを得ない状況になりました。その中でも一昨年度は3月20日に「成人のつどい」を、そして、昨年度は1月10日に「成人のつどい」と3月12日に「ウォークラリー」を開催しました。

新型コロナウイルスへの対処を充分に行ったうえでの実施でした。そこで、本会報では、このふたつに焦点をあてて事業報告をすることにしました。

ウォークラリー大会が開催されました



令和4年3月12日（土）に、第8回富岡地区ウォークラリー大会が開催されました。例年に倣い、富岡まちづくりセンターの駐車場を発着点とする巡回コースで行われました。コロナ禍での実施でしたので、マスクの着用、飲食の提供はなし、そして、何よりも参加者を250名に限定しての実施でした。コロナ禍で家の中で過ごすことが多く、運動不足になりがちで、何とかこれを打破できればという思いからの実施でした。それでもスタッフを含めると総勢400名程になり、細心の注意が必要だったことに相違がありませんでした。

250名に参加者を限定したのは、このウォークラリーの計画の段階で、特に詳細を決める最終段階で、コロナの状況が予測不可能での判断であったということです。混雑の回避等を配慮する必要があったことによります。

当日は天気にも恵まれ、スイセンや桃・ライラック・レンギョウ等の花に象徴されるように、春の和やかな空気につつまれ、春の息吹を満喫しながらの散策に興じることができました。

久しぶりに全身の筋肉を使って、かなりの時間運動をしたという実感を得たとの感想も聞かれました。仲間と共に満足感や達成感を味わうことができたという感想もありました。自然の景観や恵みを体験できたというお話も聞かれました。いふなれば、我々の当初の目的が充分達成できたということかもしれないと思いました。

尚、抽選会については、例年にはなかったパソコンによる自動抽選という新たな試みを取り入れて、できるだけ直接の接触を回避する方法を採用しました。

終わりに、本事業に協賛いただきました企業及び団体の皆様には、景品を提供いただいたり、場所をお貸しいただいたりしまして誠にありがとうございました。そして、スタッフをはじめ、参加者の皆様には、本ウォークラリーを実質的に支えてくださり、本事業を成功裏に実施できましたことを衷心より御礼申し上げます。



※地域環境部会の役員の方々が事前にコースの清掃をしてくださいました。事業の安全な実施に向けてご配慮いただき、本当にありがとうございました。

成人のつどいが行われました

先述したように令和3年3月20日（土）及び令和4年1月10日（月）に「成人のつどい」が開催されました。この2年分をまとめて報告することは容易ではないのですが、読者の皆様の想像も加味いただきながらお読みいただき、より深いご理解をいただきたいと思います。

さて、この2年間共、80名前後の参加がありました。実施が不安視される中でこのこと、具体的には、例年に近い人数の参加が得られたことに、実施できたことの意義を実感できました。中学校を卒業して以来5年後の再開ということもあって、募る思いもかなりのものがあつたかもしれません。恩師の参加も大事な要因だ

つたと思います。

ところで、この2回の開催に共通していたことは、何と云ってもコロナ禍での開催であったということです。このため、時間や場所、開催内容等に制限があり、また、飲食の提供ができないこと、換気が必要なこと、ご来賓の皆様の人数制限と挨拶の割愛が求められたこと等の条件下での開催でもありました。

こうした条件下であったにも拘わらず、実行委員会を中心に何とか記憶に残る式典とつどいの実施をとの思いで、それぞれの思いの丈を紡いで臨んだ会でもありました。

新成人の実行委員の皆さんの思いも一緒に、準備から当日の分担やらと、その責務にしっかりと取り組んでいただきました。これらを含めて当初の目的を充分達成できたと思います。参加いただいた新成人の皆様には、日本の将来を背負って立とう、未来に向かってきっぱりと生きていこうという気概と抱負に満ちた様子が窺えました。頼もしさも感じられました。

予定の内容が終了した後、体育館に移動し、友だちと歓談したり、恩師と思い出話に花を咲かせたり、記念写真を撮ったりと、しばし有意義な時間を過ごされていました。

参加された皆様の満面の笑みに、充分楽しんでもらえたという実感を得ることができましたし、何よりも新成人の皆様の未来に幸多かれと祈念いたしたいと思います。

<編集後記>

多人数での会食は不可、アルコールの提供は夜8時迄、マスクを外して近距離で15分以上話していると濃厚接触者、自宅療養者の急変、一般診療の見合わせ、換気の励行等々新型コロナをめぐり様々な情報提供がなされました。この間にいくつかの変異株が発見され、それまでに開発され、多くの人に接種されたワクチンが、この変異株に有効か否かを含め、世界中で幾多の研究もなされました。

この新型コロナウイルスによって重症になった人、また、亡くなった人も多くありました。人々にとっていかに脅威な病気だったかも、今だに計り知れない状況にあります。

この間に「正しく恐れましょう」という言葉も聞かれました。情報を得て、その対策法を知って、地道な対処法をとるとするのがその内容だと思っておりますが、むやみに大騒ぎをするなどということかと思えます。この間に得たひとつの教訓かもしれません。

但し、今現在も新型コロナウイルスは、世界中で猛威を振るっています。「with コロナ」という発想もあって、コロナと上手につきあう生活も提唱されています。早くコロナの脅威から解放されて、普通の生活に戻れる日がくるといいなと思います。